

平成24年度第6回普及・情報専門委員会 議事概要

- 日時 平成24年9月11日（火）13：30～15：00
- 場所 文部科学省・研究交流センター 2階 第1会議室
- 出席者 委員長： 開発英人
(敬称略) 委員：米原 徹、岩渕知彦、並木壯壽、中本輝昭、安 一義、大日向正人、
佐野時裕、星名大介、岡野正巳、櫛田浩司（代理）、高橋秀知
事務局：菊池正宏、伊藤祐二

■議事

- 1 普及・情報専門委員会の活動状況について
事務局から説明。
- 2 筑波研究学園都市建設50周年記念事業について
今回、筑波研究学園都市建設50周年記念事業について、①ロゴマークの作成 ②筑協主催による記念イベントの開催をテーマに、忌憚のないご意見を頂戴しました。

(委員の主な意見)

1. ロゴマークの作成について
 - ・このロゴマークは、主催者が決まっていなかった中の50周年記念全体のロゴマークなのか、筑協としてのロゴマークなのか？
→ 筑協としてロゴマークを作成し、会員機関のイベントに使ってもらい、1年間を通して盛り上げたいと思っている。従って、50周年記念事業の主催者が決まった場合は、50周年記念全体のロゴマークとして使ってもらえるよう強く推薦したいと思っている。
 - ・筑協は主催者を支援していく立場なのに、筑協でロゴマークを検討することに違和感がある。主催者が決まって、どうしたいのかが決まってから筑協が検討するのなら良いが、そこが判らない段階でロゴマークを検討するのは、順序からいうと違うと思う。
 - ・ロゴマークを作る場合は必ずテーマと目的があるので、それとずれたロゴマークはおかしいと思う。ある程度確定してから作らないといけないと思う。
 - ・50周年記念事業の核となるものが見えて来ないのに、ロゴマークを募集するにしても、どういうタイトルやイメージなのか何も言えないので作りようがない。従って、ロゴマークの作成方法の議論は時期尚早だと思う。
 - ・「50周年記念事業の主催者やテーマが明確でない時に作成すると違ったものが出る恐れがあるので、もう少しこの議論は50周年記念事業全体の流れや様子を見てから検討してはどうかと思っている」旨筑協委員会に報告することとする。
2. 筑協主催による記念イベントの開催について
 - ・イベントは、対象と時期を早めに決めて進めた方が良い。例えば、「こどもサイエンスサミット」だと子どもが対象なので時期は夏休みになると思うが、この時期は様々なところでイベントを行っているのでは、参加者の取り合いになってしまう。

- ・ J A X Aとしては、宇宙飛行士等の派遣が、筑波大学開学イベントに筑協が行う研究学園都市50周年記念事業の一例として提案している講演と「こどもサミット」になっているが、宇宙飛行士は海外におり2つのイベントへの参加は調整が無理なため、50周年記念事業イベントとしてどちらか1つに絞って頂ければと思う。
- ・ 筑波大学開学イベントの共同開催として、筑協は宇宙飛行士の講演会を行い、それにプラスして筑協のイベントを行う案はあると思う。
- ・ 当委員会事業のイベントについては、50周年記念事業のテーマや筑協の予算規模が判らないと検討のしようがない。提示してもらえば、次回委員会で検討できると思う。
- ・ 50周年記念事業全体の流れが見えないと、細かいところを決めても本流と違うところに行き無駄になる可能性があるため、時期を見て、筑協から茨城県とつくば市に対して「50周年記念事業を早く動きだしてほしい」旨お願いしてはどうか。
- ・ イベントのアイデアとして、サイエンスQの講演やパネル展をやっても良いと思う。
- ・ 50周年記念事業をどうとらえるかが大事だと思う。例えば、この50年間どういうことをしてきたのか、何ができなかったのか、50周年の歩み・歴史的なものを、又これから研究学園都市はどうあるべきかを、筑協イベントとしてやっても良いと思う。

(結論)

- ・ 上記の検討内容について、筑協委員会に報告することとする。
- ・ また、筑協委員会での結果については、次回の当委員会で報告することとする。